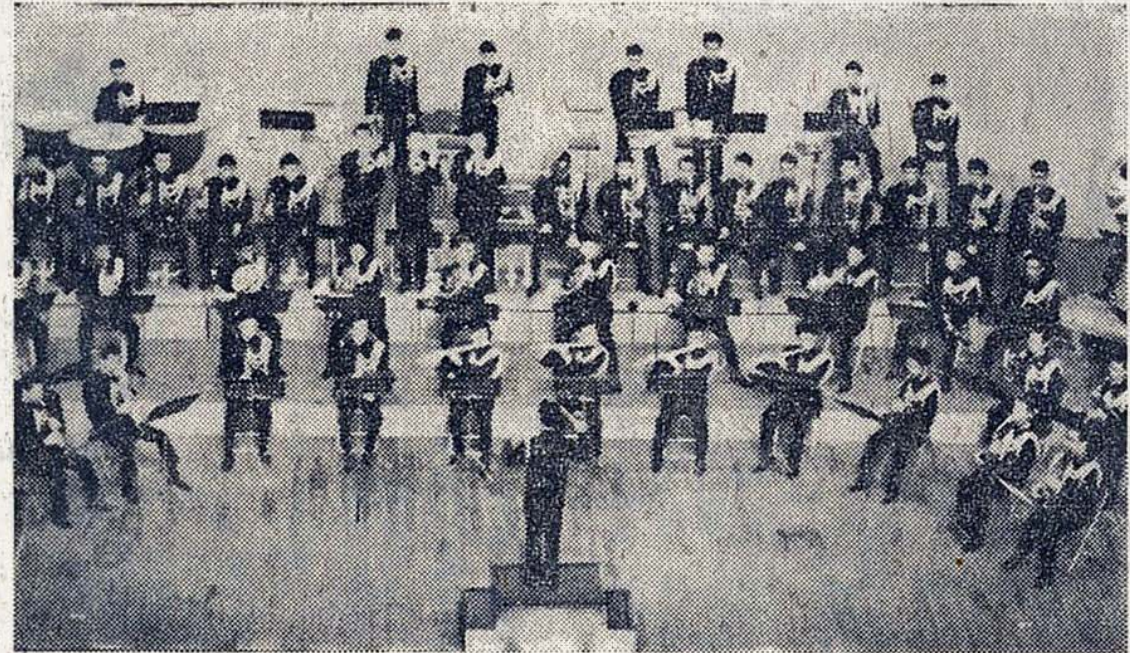


# 日大ブラスバンド

# インドネシアへ

## 独立記念式典で演奏

### スカルの大統領が招く



インドネシアの独立二十周年記念式典に、スカルノ大統領の招きで、日本大学吹奏楽研究会が出席して式典演奏の大役を果すことになった。同大のブラスバンドは、八月十七、十八両日の式典に参加するほか、約二週間にはわたりインドネシア各地で演奏会を開き、音楽を通じて日本とインドネシアの親善をふかめるといふ。

一行は、全日本大学吹奏楽連盟理事長、日大吹奏楽研究会監督の佐藤力男氏(言)を団長として、総勢五十一人。同大のブラスバンドは、さる三十七年の東京都吹奏楽コンクールで優勝した実績を持ち、技術の高さ、ハーモニーの美しさは、全国の大学の中でもトップクラスという。

スカルノ大統領は、大の日本びいき。初め同連盟に「独立式典で、大学のバンドのすばらしい演奏を聞きたい」との依頼があり、同連盟では、各大学選抜チームの編成が時間的に間に合わないことから、日大を紹介したところ「ぜひよこして」との返事がこまき。

演奏する日大ブラスバンド

同大バンドの招待が決った。八月十四日に東京・羽田をたち、空路ジャカルタへ向う。十七日の式典には、ジャカルタ市内を演奏パレード、十八日は各国代表団が肩並ぶ野外の式場いっばいにインドネシアの国歌、行進曲をはじめ、日本の祝典行進曲などをひびかせる。その後は、政府さしまわしの軍用機でスマトラ、カリマンタン、スラウエシ、バリ島の各地をまわり、前後十一回の演奏会、市中パレードをくりひろげる。

とりわけ趣好をこらしたのは演奏会。第一部では、クラシック音楽が中心となる。第二部は、同大バンドお得意のステージ・ドリル。隊形を組みかえながら、演奏

をつづけ、動く音楽をかなでる。また女子学生六人がふりそで姿のバトンガールになり八木節など民謡に合わせて踊りまくる。そして、第三部は日本の曲をきかせる。インドネシアで、とくに人気のある「真白き富士の嶺」「玉手箱」「軍艦マーチ」などを披露するといふ。

こうした音楽旅行のほか、各地の大学では、学生たちとの交歓をはかり、アジア・アフリカ問題などについて意見をかわすことになっている。同大バンドは、いま長岡、高田、富山、岐阜などを演奏旅行しながら「日本の大学の吹奏楽の高いレベルをぜひ示してきた」と、はげしい練習をつづけて